

②高校1年での実施内容

(国語、数学、地歴公民、理科の教員と英語の教員による教科横断的 TT による授業)

→ ・高1のCTPは、以下の3つのアプローチの混合アプローチで実施する。

①汎用 (ジェネラル)アプローチ：科目を越えた批判的思考スキルなどを明示的に教える。 →教科書「誰でもわかるクリティカルシンキング それってホント？」 帝京大学法学部 准教授 若山 昇先生
②導入(インフュージョン)アプローチ：各教科の教育において批判的思考スキルなどを明示的に教える。
③没入(イマージョン) アプローチ：学習者は教科内容に深く没入することを通して、批判的思考スキルを気づきによって獲得する。

- ・木曜日の6限に4クラス同時展開で実施。授業の内容によっては、7限目の総合的な学習の時間と連動し、2時間連続で実施する。
- ・各クラスは、英語の教員+他教科の教員というTTで担当する。各教科の担当が、それぞれの特性を活かしたCritical Thinkingを活用する教材を開発する。それを4クラスの担当者全員が共有し、同時展開で実施する。授業方法は、すべてグループでのアクティブラーニングを行う。

高1のCTPの内容

月	アプローチの仕方	実施内容
4	ジェネラル	(1)クリティカルシンキングとは？合い言葉はクリシン！ ①日常のクリティカルシンキング
5		②SGHのメリット・デメリットを考える
6	インフュージョン	③特別講座（東洋大学国際学部 助教 柏崎梢 4/25） 「フィールドワーク入門～羅針盤となる仮説をつくらう～」 ④特別講座（帝京大学法学部 若山昇准教授 6/22） 「それって、ホント？なぜ、本当？」
7	インフュージョン	(2)各教科に関連したCritical Thinking ①公民でのクリシン ②国語でのクリシン ③理科でのクリシン ④数学でのクリシン (3)日本語によるディベート活動 7/18(木) ①全体説明会・モデルディベート、グループ分け
9	イマージョン	9/5(木)第1回ディベート 論題：「日本は消費税率をさらに上げるべきだ」（地歴・公民的要素を含む） 9/12(木)第2回ディベート 論題：「クローン人間は禁止すべきだ」（理科的要素を含む）

1 0		9/26(木)第3回ディベート 論題：「方言は生き残るべきだ」（国語的要素を含む）
1 1		11/21(木)第4回ディベート 論題：「数学のテストで計算機を使うことを許可すべきだ」（数学的要素を含む） 11/21(木)第5回ディベート 論題：「日本の高校生は英語以外の外国語も学ぶべきだ」（英語的要素を含む）
1 2 ～1	検証	(4)Critical Thinkingがどれだけ身についたか ①Critical ThinkingのCBT受験*
	イマージョン	(5)英語によるディベート活動 12/12(木)⑥ 概要説明（グループ分け、テーマ、試合予定日、対戦相手、サイド等の決定） 1/9(木)⑦ ディベート準備（グループ毎） 1/16(木)⑥第1回ディベート 論題：「童話や昔話の結末はハッピーエンドにするべきだ」（国語的要素） 1/23(木)⑥第2回ディベート 論題：「日本政府はバレンタインデーを禁止すべきだ」（地・公的要素） 1/30(木)⑥第3回ディベート 試合③ 論題：「日本政府はオンラインゲームを禁止すべきだ」（理科的要素）

\*Critical Thinking がどれだけ身についたかについては、若山昇先生他が開発したコンピュータによる試験（CBT）を生徒が受験し客観的な検証を行った。